11月は「児童虐待防止月間」です

小田原児童相談所子ども支援課の大澤弘美課長に児童虐待の現状や子どもへの影響についてお話を伺いました。

児童虐待の現状

全国の児童相談所が対応した児童虐待相談件数は、統計開始から25年連続で増加しており、平成27年度には10万件を超えました。

増加の主な理由は、虐待そのものが増えていることに加え、平成27年からスタートした児童相談所全国共通ダイヤル（189ダイヤル）が皆さんに浸透したことや警察からの通告が増えたことが考えられます。

子どもへの影響

例えば「お前が悪い」、「お前なんていらない人間だ」と長期間虐げられると、「どうせ自分は何をやってもダメな人間だ」と思うなど、自己肯定感や自尊感情が持てず、自分の人生に前向きになれず、社会に出ても大きな傷を抱えて生きていくことになります。

もちろん暴力によって負傷することの影響もありますが、目に見えない心への傷は癒えるものではありません。

児童相談所の役割

児童相談所は、児童虐待に対応する機関というイメージをお持ちの方が多いと思いますが、本来は児童に関する相談に対応する機関です。

不登校や障がい、非行などの18歳未満の児童に関する相談や、子どもがいうことを聞かない、子どもを叩いてしまいそうといった育児に関する相談に対応しています。

児童相談所には、相談員のほか、心理士、ケースワーカー、保健師、嘱託医などがいます。相談に対して、この子はどんな子どもなのかを知ることからスタートし、困っていることの背景を把握しながら、相談者と一緒に問題を解決していきます。

子育て中の保護者の皆さんへ

誰でも子育ての悩みや課題を抱えています。悩むことは大事なことです。

「もしかしたら虐待かもしれない」と思ったら早めに相談してください。電話での相談や匿名での相談も受け付けています。児童相談所に通告・相談ができる189ダイヤルは24時間稼働しています。

子どもの目の前での激しい夫婦喧嘩や配偶者間暴力（DV）も、心理的虐待にあたるということを認識していない両親が少なくありません。喧嘩をするのであれば、子どもの目の前ではしないでほしいと思います。

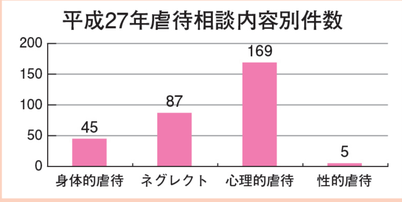
見えない影響も残す児童虐待――

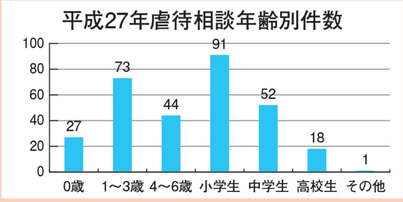
また、毎日の子育ての中で、子どもの良いところに着目して、どんな小さなことでも褒めて、認めてあげることが大切です。怒ってしまうことが多くても、1日1回は意識的に褒めてあげるようにしましょう。

小田原児童相談所子ども支援課
課長　大澤 弘美さん

数字でみる児童虐待

小田原児童相談所が平成27年度に受理した児童虐待は306件です。年齢別では乳幼児が全体の47%を占めています。言葉による脅かしや子どもの目の前でDVを行うといった心理的虐待は年々増加しています。





児童相談所虐待対応ダイヤル 189（いちはやく）
お住まいの地域の児童相談所につながります。
※一部の市町村ではつながりません。相談窓口をお尋ねください。

小田原児童相談所
☎32-8000
町子ども・子育て支援室
☎84-0328

「不法投棄をしない！させない！許さない！」

問 環境防災課　☎84-0314

県では11月を「不法投棄撲滅強化月間」として、この期間、不法投棄に対する監視パトロールなどを重点的に実施し、不法投棄・散乱ごみ対策に関する集中的な取り組みを進めています。

町でも県と連携し、年間を通して様々な対策を実施しています。

パトロールの実施

町の環境美化推進協議会委員の皆さんの協力により、パトロールを行い、不法投棄されない環境づくりに取り組んでいます。

不法投棄物への啓発シール

不適切に出されたゴミには、収集時に黄色いシールを貼り付けて、ごみ出しルールを守っていただくように啓発しています。

不法投棄物に黄色のシールを貼ります

不法投棄禁止啓発看板の設置

不法投棄が多い場所に看板を設置し、不法投棄の禁止を呼びかけています。

この看板が目印です

不法投棄を見つけたら！

町環境防災課、県西地域県政総合センター、松田警察署へ通報してください。通報により早期対応ができます。

町環境防災課　☎84-0314
県西地域県政総合センター　☎32-8000
環境部環境調整課　☎82-0110
松田警察署

スポーツで「未病」を改善しよう！

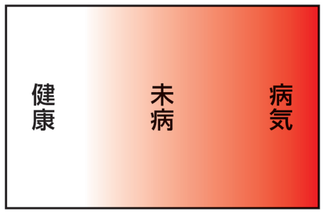
問 自治活動応援課　☎84-0315

病気ではないけれど

「未病」とは、健康から病気に向かう状態のことをいいます。「なんとなく調子が悪い」、こんな経験はありませんか。

未病を改善する！

病気になってから薬で治療するより、普段からバランスのよい食事や適度な運動、人との交流を心がけることで、発症のリスクを減らしましょう。



健康と病気の間が未病です

開成町は〝スポーツ〟で

スポーツを通じてもっと健康になるために、11月から来年3月にかけて、スポーツ教室やトップアスリートによる講演会を集中開催します。

教室のメイン会場は、「未病いやしの里の駅」に登録されている開成水辺スポーツ公園です。ご近所で気軽に運動できるのが、開成町のいいところです。普段運動をしない人にも、スポーツが好きでステップアップしたい人にもぴったりの教室ばかりです。

開催する教室などの内容は、広報かいせい11月号にあわせて配布するチラシやおしらせ版をご覧ください。

気持ちのいい風が吹く「開成水辺スポーツ公園」